

共通基礎科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
OAXA001	医学概論	1	1.0	1	春A	火7,8		檜澤 伸之, 関根 郁夫, 家田 真樹, 森島 祐子, 榎本 剛史, 山崎 正志, 丸島 愛樹, 松本 功, 乃村 俊史, 岡田 浩介, 中島 崇仁, 許 東洙	「医学概論」講義は、さまざまな臨床分野で活躍する経験豊かな医学部の教授陣が、その知識と見識を紹介し、学生は臨床医学各分野の最近情報を包括的に学ぶことができる。医学の分野でキャリアを積みみたいと考えている方にも、単に理解を深めたいと考えている方にも、このレクチャーシリーズは学生にとって最適な機会です。	2023年度の入学学生は履修不可 英語で授業。 4/18-5/23, 4/18-5/23 オンライン(オンデマンド型)
OAXA002	創薬概論	1	1.0	1	春AB	応談		宮前 友策, 保富 康宏, 杉山 哲也, 戸田 浩史	製薬企業等において、新薬を上市するまでにどのようなプロセスを経る必要があるのか、創薬の戦略について学習する。また、創薬研究に使用されるモデル生物の特徴や、感染症に対するワクチンの開発と実用化について理解を深める。	英語で授業。 4/24, 5/8, 5/15, 5/22, 6/19 対面(オンライン併用型) Combination of Online (Asynchronous) and Face-to-face
OAXA003	食品科学概論	1	1.0	1	春AB	集中		市川 創作, 小林 功, 山本 和貴, 池羽田 晶文, 川崎 晋, 日下部 裕子	In this course, students will learn about food science based on physical, chemical, biochemical, biological, and engineering approach, from the fundamental level to cutting-edge applied science and technology. After a general overview of the course, the lecture will be on "food processing for ensuring food safety". Food is processed to maximize its quality and to minimize its food safety risks among which microbial hazards mostly cause severe poisoning risks. The lab tour at the Institute of Food Research, NARO will focus on food engineering, food processing, food analysis, food safety, and food functionality. The study of deliciousness deals with a broad overview of taste, including the definition of taste, the classification of taste substances and the history of their discovery, and the structural functions of taste receptors. To quantify safety and deliciousness, scientific analysis is essential. Spectroscopic methods for quick and simple measurements and modern taste sensors will be explained. The last lecture deals with processing before and after food ingestion, especially emulsification, emulsion characterization, and in vitro gastric digestion.	英語で授業。 4/18, 4/25, 5/9, 5/16, 5/23, 5/30, 6/6, 6/13, 6/20, 6/27 対面(オンライン併用型)
OAXA004	バイオリソース概論	1	1.0	1	秋A	水1,2		小林 正智, 高橋 真哉, 大熊 盛也, 中村 幸夫, 吉木 淳, 阿部 訓也	本講義ではライフサイエンスイノベーションの推進におけるバイオリソースの重要性とバイオリソースセンターの役割について理解を深めることを目指す。そのために動植物個体、細胞、微生物リソース、及び関連技術、付随情報について、スペシャリストによる講義を受ける。	英語で授業。 対面(オンライン併用型)
OAXA005	自然史概論	5	1.0	1	秋AB	集中		高橋 真哉, 坂上 和弘, 藤田 敏彦, 細矢 剛, 宮脇 律郎	動物学・植物学・人類学・地学における研究例のいくつかを紹介し、自然史研究について概観できるようにすることを目指す。各分野での概論を講義した後、動物学分野では、動物の進化・分類と多様性について講義を行う。植物学では、植物の進化・分類と多様性について講義を行う。人類学については、人類の進化・分類と多様性について講義を行う。地学については、地球科学、岩石の形成、分類と多様性について講義を行う。それぞれの講義の後、実物の標本についての観察を見学実習にて行い、その理解を深める。	英語で授業。 11/9, 11/16 対面
OAXA006	バイオインフォマティクス概論	1	1.0	1	秋A	集中		櫻井 鉄也, 二村 保徳, 叶 秀彩, Nguyen Dai Hai, 尾崎 遼	バイオインフォマティクス分野を支える主要な関連分野である数理アルゴリズム、機械学習、トランスクリプトミクス、メタボロミクス等における基本的な事項を学ぶ。	OAXA011を履修済みの学生は履修不可 英語で授業。 10/3, 10/10, 10/17, 10/24, 10/31 オンライン(オンデマンド型) 英語で授業、レポートも英語のみ可。

OAXA011	バイオインフォマティクス基礎	4	1.0	1	春AB	金2	櫻井 鉄也, 二村 保徳, Nguyen Dai Hai	本科目では、バイオインフォマティクスに関する基本的な事項を学ぶ。データプロセッシング、シーケンス解析、データ可視化、ネットワークとグラフ、クラスタリング、スーパーコンピュータと並列計算に関する講義に加えて、計算機を利用した演習を通して、基礎理論や実践的手法の理解を深める。	英語で授業。 オンライン(オンデマンド型)
OAXA012	医薬品・食品マネジメント学	1	1.0	2	春A	木5, 6	寺崎 直, 山本 信行, 柏木 健一, 白形 由美子, 内海 潤	近年、ライフサイエンス分野の研究成果を基にした製品開発や製品化に関しては、知的財産権の管理が重要になってきている。今後は当該分野の研究者も、これらに関する知識を持ち、自身でもその管理に関わることが課題になっていくと考えられる。本科目では、第一線の専門家により、医薬品・食品ビジネスマネジメントに関わる知財管理、運用、投資について、創薬・機能性食品・薬用化粧品開発の実例を提示してもらい、理解を深める。	2023年度入学生は履修不可 英語で授業。 オンライン(対面併用型)
OAXA013	レギュラトリーサイエンス	1	1.0	1・2	春AB	水5, 6	フォンテス セシル ルギヤル, Rage Andrieu Virginie, 荒川 義弘	レギュラトリーサイエンスは、科学技術基本計画において、「科学技術の成果を人と社会に役立てることを目的に、根拠に基づいた確かな予測、評価、判断を行い、科学技術の成果を人と社会とも調査の上で最も望ましい姿に調整するための科学」と定義されている。本講義においては、日本およびヨーロッパにおいて、レギュラトリーサイエンスが、医薬品および医療機器の有効性、安全性、質の保証において果たす重要な役割について、概説する。	英語で授業。 オンライン(同時双方向型) Combination of Online (Asynchronous) and Online (Synchronous)
OAXA021	ライフイノベーション実習	5	1.0	1	通年	随時	宮前 友策, 高橋 真哉, 植村 邦彦, 許 東洙, 河地 正伸, 小林 正智, 陳 國平, 平川 秀彦, 川上 亘作, 吉松 嘉代, 亀田 恒徳, 寺本 英敏, 富田 秀一郎	ライフサイエンス分野の国立研究開発法人(理化学研究所、産業技術総合研究所、物質材料研究機構など)および企業の研究所を見学し、各機関で活躍する研究者と交流する機会を提供する。さらに、各研究所における先端研究に関する講義を行う。学生は、各研究所の研究への独自の取り組み方を学習する。学習成果は学生の研究活動に活かされるだけでなく、大学院修了後のキャリアパスを考える材料となることを目的とする。	2023年度入学生は履修不可 英語で授業。 オンライン(対面併用型)
OAXA022	ライフイノベーションチーム型演習	2	2.0	1	通年	金1	神谷 俊一, 宮前 友策	本科目は、ライフサイエンスに基づいてアプローチ可能な実社会の中の問題を見つけ出し、プログラム内の異分野の研究を行う学生との協働作業により解決策を提案する演習科目である。本演習を通してイノベーションに必要とされる社会的ニーズの的確な把握と、関連する他分野の専門家との共同作業を行うための能力を養成する。具体的には、ライフサイエンス研究における方法やアプローチ、特許調査の重要性と特許出願、新規研究プロジェクトの計画において必須とされる知識・スキルなどを講義する他、受講者によるプレゼンテーションや受講者同士でのディスカッションなどを行う。	2023年度入学生は履修不可 英語で授業。 対面
OAXA023	責任ある研究行為: 基盤編	1	1.0	1	通年	応談	平川 秀彦	研究活動を行うにあたっては研究倫理規範に精通していることが必須である。本コースは、一般財団法人構成研究推進協会(APRIN)が提供するe-Learningを利用することにより、学生は責任ある研究行為について理解する。	2023年度入学生は履修不可 オンライン(オンデマンド型)
OAXA024	ライフイノベーションチーム型演習(基礎)	2	1.0	1	春ABC	金1	神谷 俊一, 宮前 友策	In this course, students will learn how innovations in life science field have been brought about from the triggering discovery to their invaluable contributions to human life in the form of available products. Students obtain basic or advanced knowledge through lectures, but they also have to participate in group discussion on various topics that need critical and creative thinking from global perspectives. By playing a role as a discussor, speaker, or moderator in the class, students will be trained to have improved skills in communicating with other people from different fields or different countries.	OAXA022を履修済みの学生は履修不可 英語で授業。 主専攻必修科目。対面

OAXA025	ライフィノベーション チーム型演習（発展）	2	1.0	1・2	秋ABC	金1		神谷 俊一, 宮前 友策	Following the course in Spring semester, this Advanced course deals with deeper knowledge in creating new research projects. As in the Basic course, group discussion on various topics that need critical and creative thinking from global perspectives is an important part of this course. By playing a role as a discussor, speaker, or moderator in the class, students will be trained to have improved skills in communicating with other people from different fields or different countries. The mandatory final presentations by all the students should reflect their capabilities and enthusiasm to find important challenges human beings face (or will face) and to create an original project to overcome such challenges.	OAXA022を履修済みの学生は履修不可 英語で授業。 主専攻必修科目。対面
OAXA031	博士前期ライフィノ ベーションセミナー	1	1.0	1	春B秋A 夏季休業 中 秋B		集中	ゴードینگ コ リン, フィリパコ ポロス パナギス, メラージェーン, オニール エリッ ク, ガードハンセ ン マッズ, スティ ングリムツソン エイリークル, ヒ メネス カスト ディア ガルシア, ラルリュ ライオ ネル, 市川 創作, 平川 秀彦	本授業では、海外の協力教員が、ライフサイエンスにおける基礎から最先端の研究トピックに関するセミナーを行う。講師陣とのインタラクティブなやり取りを通して、「どのように経歴を伸ばすか?」や「論文を書くこと、審査プロセス、エディターやレフェリーの見方からみえるもの」について学び、研究者の資質、研究者に必要なプレゼンテーション、ディスカッション、コミュニケーション能力などを学生が獲得することを目的とする。	英語で授業。 5/28- 6/2, 9/26, 9/27, 10/30- 11/2, 11/10 対面
OAXA041	博士前期インターン シップI	3	1.0	1・2	通年		応談	平川 秀彦	国内外の研究機関、企業、行政機関、本学位プログラムに参画する研究室において研究活動や就業体験をする。新たなスキル・知識を修得するだけでなく、社会貢献に対する意識、専門分野外の人とも協働できる能力、新たな問題に対する対応力を養い、社会人としての実践力を修得する。	対面 Case-by-case
OAXA042	博士前期インターン シップII	3	1.0	2	通年		応談	平川 秀彦	前期課程における研究に関連する課題の分野横断的な解決の糸口を見つけることを目的として、国内外の研究機関、企業、行政機関、本学位プログラムに参画する研究室において研究活動や就業体験をする。新たなスキル・知識を修得するだけでなく、社会貢献に対する意識、専門分野外の人とも協働できる能力、新たな問題に対する対応力を養い、社会人としての実践力を修得する。	ライフィノベーション 博士前期研究I春およ びライフィノベシ ョン博士前期研究II秋 の単位を修得済みの学生 のみ履修可。博士前期 インターンシップIを 履修済みの学生は履修 不可。 Case-by-case

共通専門科目

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時間	教室	担当教員	授業概要	備考
OAXA10F	ライフィノベーション 博士前期演習I秋	2	1.0	1	秋学期	随時		ライフィノベ ーション学位プロ グラム博士前期課程 演習担当教員	各自の所属研究室において、最新の研究論文の抄読会に参加し、自身の研究に関連する論文の内容について、科学的なプレゼンテーションやディスカッションを行い、専門知識を身に付けるためのスキルを身に付け、専門分野における最新の研究知識や研究動向を把握する。この科目はライフィノベーション博士前期演習I春(OAXA10S)、II秋(OAXA20F)、II春(OAXA20S)と補完関係にある。	対面(オンライン併用型) Online (Synchronous), Online (Asynchronous) or Face-to-face
OAXA10S	ライフィノベーション 博士前期演習I春	2	1.0	1	春学期	随時		ライフィノベ ーション学位プロ グラム博士前期課程 演習担当教員	各自の所属研究室において、最新の研究論文の抄読会に参加し、自身の研究に関連する論文の内容について、科学的なプレゼンテーションやディスカッションを行い、専門知識を身に付けるためのスキルを身に付け、専門分野における最新の研究知識や研究動向を把握する。この科目はライフィノベーション博士前期演習I秋(OAXA10F)、II秋(OAXA20F)、II春(OAXA20S)と補完関係にある。	対面(オンライン併用型) Online (Synchronous), Online (Asynchronous) or Face-to-face
OAXA11F	ライフィノベーション 博士前期研究I秋	3	2.0	1	秋学期	随時		ライフィノベ ーション学位プロ グラム博士前期課程 研究指導教員	修士論文を完成させるために各自が所属する所属研究室において、研究計画を立案し、研究の遂行に必要な研究スキルおよび知識を身に付けつつ、研究を進める。研究の進捗状況をプレゼンテーションし、議論を深めることにより、研究の軌道修正を行う。 この科目はライフィノベーション博士前期研究I秋(OAXA11F)、II秋(OAXA21F)、II春(OAXA21S)と補完関係にある。	対面(オンライン併用型)

OAXA11S	ライフィノベーション博士前期研究I春	3	2.0	1	春学期	随時		ライフィノベーション学位プログラム博士前期課程研究指導教員	修士論文を完成させるために各自が所属する所属研究室において、研究計画を立案し、研究の遂行に必要な研究スキルおよび知識を身に付けつつ、研究を進める。研究の進捗状況をプレゼンテーションし、議論を深めることにより、研究の軌道修正を行う。 この科目はライフィノベーション博士前期研究I秋(OAXA11F)、I秋(OAXA21F)、I春(OAXA21S)と補完関係にある。	対面(オンライン併用型)
OAXA20F	ライフィノベーション博士前期演習II秋	2	1.0	2	秋学期	随時		ライフィノベーション学位プログラム博士前期課程演習担当教員	各自の所属研究室において、最新の研究論文の抄読会に参加し、自身の研究に関連する論文の内容について、科学的なプレゼンテーションやディスカッションを行い、専門知識を身に付けるためのスキルを身に付け、専門分野における最新の研究知識や研究動向を把握する。この科目はライフィノベーション博士前期演習I秋(OAXA10F)、I春(OAXA10S)、I春(OAXA20S)と補完関係にある。	対面(オンライン併用型) Online (Synchronous), Online (Asynchronous) or Face-to-face
OAXA20S	ライフィノベーション博士前期演習II春	2	1.0	2	春学期	随時		ライフィノベーション学位プログラム博士前期課程演習担当教員	各自の所属研究室において、最新の研究論文の抄読会に参加し、自身の研究に関連する論文の内容について、科学的なプレゼンテーションやディスカッションを行い、専門知識を身に付けるためのスキルを身に付け、専門分野における最新の研究知識や研究動向を把握する。この科目はライフィノベーション博士前期演習I秋(OAXA10F)、I春(OAXA10S)、I秋(OAXA20F)と補完関係にある。	対面(オンライン併用型) Online (Synchronous), Online (Asynchronous) or Face-to-face
OAXA21F	ライフィノベーション博士前期研究II秋	3	2.0	2	秋学期	随時		ライフィノベーション学位プログラム博士前期課程研究指導教員	修士論文を完成させるために各自が所属する所属研究室において、研究計画を立案し、研究の遂行に必要な研究スキルおよび知識を身に付けつつ、研究を進める。研究の進捗状況をプレゼンテーションし、議論を深めることにより、研究の軌道修正を行う。 この科目はライフィノベーション博士前期研究I秋(OAXA11F)、I春(OAXA11S)、I春(OAXA21S)と補完関係にある。	対面(オンライン併用型)
OAXA21S	ライフィノベーション博士前期研究II春	3	2.0	2	春学期	随時		ライフィノベーション学位プログラム博士前期課程研究指導教員	修士論文を完成させるために各自が所属する所属研究室において、研究計画を立案し、研究の遂行に必要な研究スキルおよび知識を身に付けつつ、研究を進める。研究の進捗状況をプレゼンテーションし、議論を深めることにより、研究の軌道修正を行う。この科目はライフィノベーション博士前期研究I秋(OAXA11F)、I春(OAXA11S)、I秋(OAXA21F)と補完関係にある。	対面(オンライン併用型)

専門科目(生体分子材料)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OAXA701	バイオマテリアルサイエンス	1	1.0	1	秋A	集中		Walde Peter Johann, 市川 創作	本講義ではライフサイエンス分野におけるバイオハイブリッドシステムの利用による革新的な応用およびそのトレンドを概説する。バイオハイブリッドシステムとは生体由来分子(タンパク質や脂質などの生体分子)と非生体由来物質(合成高分子、両親水性物質、無機粒子など)からなる共役体や分子集合体のことである。バイオハイブリッドシステムの調製法や機能解析を医薬品やバイオテクノロジー分野への現在・未来の応用例の批評と合わせて説明する。ペプチド・タンパク質が有する様々な機能性を幅広く応用するためのペプチド・タンパク質-ポリマー共役体に関して主に焦点を当てる。	英語で授業。 10/3-10/6 対面(オンライン併用型) Two times online (Synchronous) classes during these days. The first day: Introduction and overview (about 30 minutes) The last day: Summary lecture, Question-and-answer and Closing (about 60 minutes)
OAXA702	生体分子工学	1	1.0	1	春B 春C	木1,2 集中		平川 秀彦, 富田 秀一郎, 寺本 英敏, 亀田 恒徳, 宮岸 真, 市川 創作	生体分子を主要構成成分とする超分子・巨大分子は高い生体適合性・持続可能性を有するだけでなく、化学的・物理的特性にも優れており、実用的なマテリアル・ツールとして利用されつつある。最先端の生体超分子の合成・応用に関する知識を修得するためにオムニバス方式での講義を実施する。	英語で授業。 7/20 オンライン(対面併用型)
OAXA703	プロジェクトマネジメント	1	1.0	1	春C	木1,2		佐藤 知一, 清田 守	本コースは、プロジェクトの定義、プロジェクトマネジメントの用語やプロセス(立ち上げ、計画、実行、監視コントロール、終了)の概要を提示し、基礎的なプロジェクトマネジメントの理解を深める。加えて、実際に使われるプロジェクト運営ツールの概要、活用方法、活用事例も示す。従来型の大型プロジェクトに加え、研究開発型、私生活型のプロジェクトマネジメント事例も紹介する。それにより生体材料の研究開発等に役立つプロジェクトマネジメントの理論と実務の基礎を理解する。	英語で授業。 対面